

豊かなふるさとづくりをめざす

# あすの秋田

No.298

編集・発行

(社)あすの秋田を創る協会  
秋田県生活学校連絡協議会  
秋田県花いっぱい運動の会  
秋田県地域づくり運動推進協議会  
あすの秋田を創る中国研修友の会

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2  
(遊学舎内)

TEL 018 (839) 8191 FAX 018 (839) 8192

## 釈迦内サンフラワープロジェクト

(釈迦内SP)

釈迦内SP実行副委員長

五十嵐 經

(釈迦内小学校長)

大館市釈迦内地区(七千三百人弱)では明治時代前後「向陽」(太陽に向かって咲き誇るひまわりのように明るくたくましく成長しよう)という言葉を大切に、釈迦内小学校は明治7年「向陽学校」として創立された。しかし、現在はその言葉やそれに込められた地域の願いも忘れられているのが現状である。そこで、「向陽」に込められた精神性を呼び起こし地域の活性化を図ろうと、「地域の元気の源となる学校」を目指す釈迦内小学校から釈迦内まちづくり協議会に呼びかけ、幼小中高・住民・企業・行政が一体となった「釈迦内サンフラワープロジェクト(SPP)」設立した。略称のSPPは警察用語になぞらえ「自分たちの地域は自分たちで守り発展させる」という強い決意を表している。活動としては、主に釈迦内小学校全校児童と保護者・地域住民が一体となって休耕畑を借りて耕

起し、ひまわりを育てひまわり油を委託製造し、子ども自ら販売し、ひまわり油の収益金は諸経費を差し引きすべて小学校の「宿育」(親元を離れた長期宿泊活動を通しての人格形成)の一部に充当し、自立心の一層の向上を図るものである。6年生が4泊5日の日程で北海道の木古内町と函館に出かけ、地引き網、捕った魚を三枚おろし、漁船に乗ってホタテの稚魚放流、六Mの岸壁から海へダイビング、搾乳体験、民泊等の体験を実施した。

三年目となる今年度は地元企業とのコラボでひまわり茶やS-マヨも開発・販売したが、今後一層地域の絆を深めるための一手をうっていききたい。

